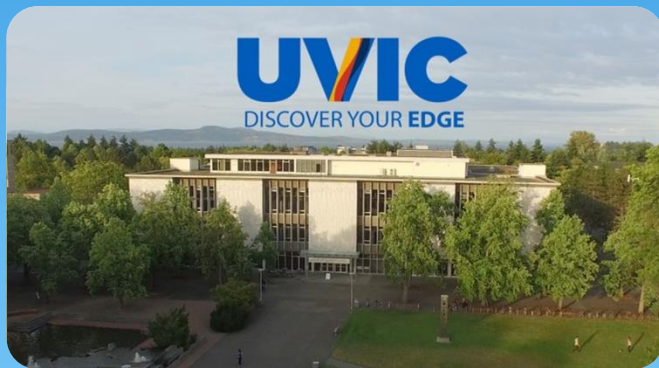


2015 Akita Prefectural University Overseas Study Tour

University of Victoria, Vancouver, Canada

University of British Columbia, Vancouver, Canada



2015年夏期語学研修報告集
秋田県立大学

プログラム概要

【応募・申込み】

中上級レベルの語学研修プログラムとして初の試みであるカナダ語学研修派遣には、秋田・本荘両キャンパスから11人の応募があった。書類と面接による選考を経て6名の研修メンバーが決定した。

【渡航先】

<カナダ・バンクーバー>

・ **University of Victoria (Uvic)**
(ビクトリア大学)

・ **University of British Columbia (UBC)**
(ブリティッシュコロンビア大学)

【渡航前準備】

語学プログラム申込み手続は参加学生がwebから手続した。授業登録、入寮/ホームステイ申込み、学費、寮費、その他手数料・保険料の支払いまでを、国際交流員の立ち会いのもと各自で行った。

【参加プログラム】

Uvic: Monthly Language and Culture
(English Language Center)
8月9日～8月30日 (3週間)

UBC: English for the Global Citizen
(English Language Institute)
8月30日～9月20日 (3週間)

【滞在先】

Uvic : 学生寮

UBC : ホームステイ

【経 費】 (自己負担: 1人あたり)

1) 個人負担 約27万円～30万円

<内訳>

- ・ 学費
- ・ 滞在費 (学生寮・ホームステイ)
- ・ 保険、授業登録料等

2) 大学からの助成

- ・ 国際航空費
(成田-バンクーバー往復)

3) その他費用 (自己負担)

- ・ 現地交通費 (通学)
- ・ 国内旅費
- ・ 現地食費 等

【研修報告会】

12月2日 (本荘C)、9日 (秋田C) で参加メンバー全員による研修報告会を行った。

University of Victoria
English Language Center

Monthly Language and Culture Program

2015.8.09 ~ 8.30



生物生産科学科 3年 吉田 恵李果

生物生産科学科 3年 船渡 結

<プログラム日程>

3週間のプログラム日程は以下の表の通りでした。Optional Activitiesは土日に予定されていて、初めの1週間のうちに各自で予約をして参加します。Optional Activitiesに参加をしない日は、ダウンタウンやアップタウン、シドニー（ビクトリアの北側にある観光都市）に出かけることができます。

午前中はクラスがあり、基本的に午後のアクティビティは全員参加、夜は自由参加でした。

アクティビティはほぼ毎日、数種類準備されていて、自分の行きたい場所を選択します。それぞれのアクティビティには担当CA(学生アシスタント)が振り分けられていて、一緒にスポーツや観光をしました。

English Language Centre
Program 7 (August 3 Week Program)

2015 Events Calendar

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
9	10	11	12	13	14	15
Arrive Victoria 7:00-9:00 PM Mix and Mingle	9:00 AM Placement Test 11:00 AM Campus Tour 2:00 PM Program Orientation and Welcom Reception 7:00 PM Residence Orientation	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00 PM Downtown Walking Tour 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00 PM Drumming Workshop 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 1:45 PM Discover BC Tour (Fort Rodd Hill or Sidney) 7:00 PM Las Vegas Night	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00 PM Walk up Mt.Tolmie \$Optional Trip\$	\$Optional Activities\$
16	17	18	19	20	21	22
\$Optional Activities\$	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00 PM Visit The Royal BCMuseum 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00 PM Workshop 1A 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00-4:00 PM Preparation Time for Culture Night 5:00 PM Program Barbeque	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00-4:00 PM Workshop 1B 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 1:45 PM Discover BCTour (Goldstream Park or Elk Lake) \$Optional Trip\$	\$Optional Activities\$
23	24	25	26	27	28	29
\$Optional Activities\$	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes PM Preparation 7:00 PM Culture Night	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00-4:00 PM Workshop 2A 7:00 PM Night Activities	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM English Classes 2:00-4:00 PM Workshop 2B 7:00 PM Night Activities	8:30-9:30 AM English Classes 9:30 AM - 12:30 PM Final Speaking Tests	8:30-10:20 AM 10:40 AM - 12:30 PM Final Class & Class Wrap-Up 1:30 PM Farewell Lunch & Certificate Presentation	Depture from Victoria

\$Optional Trip\$.....Vancouver Trip

\$Optional Activities\$.....Butchart Gardens, Whale Watching, Kayaking

Workshop.....Outdoor Adventure, Urban Adventure, Sports, Dance & Movment, Conversation, Arts & Crafts

Night Activities.....Frisbee, Dodgeball, Swimming, Paint a Plate, Beach Walk, etc...

・大学所在地「ビクトリア」について

ビクトリアはバンクーバー島南端部に位置しており、カナダのバンクーバーから飛行機あるいはフェリーなどで行くことができる。この街は「Garden City」とも呼ばれており、イギリス植民地時代に由来する美しい街並みと雄大な自然が融合している。気候も穏やかで過ごしやすいため、カナダ国内でも観光地や移住先として大変な人気を誇っており、毎年大勢の人々が訪れている。実際に訪れたいいくつかの場所を以下に紹介する。

・Butchart Gardens (ブッチャート・ガーデン)

ビクトリアを代表する観光スポット。サンクンガーデン、ローズガーデン、イタリアンガーデン、日本庭園、地中海庭園の5つのエリアがあり、季節ごとに移り変わる花々を楽しむことができる。各種映画やドラマのロケ地としても使われており、世界的にも有名。夏の時期（7月～9月）の毎週土曜日に行われる花火も名の一つ。



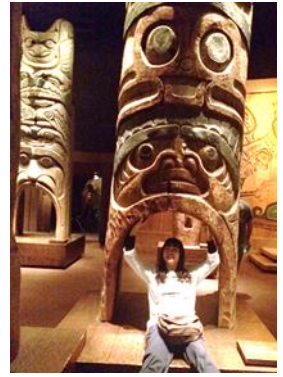
・Royal British Columbia Museum

(ロイヤル・ブリティッシュ・コロンビア博物館)

BC州の自然、文化、歴史を紹介する博物館。特にカナダ北西沿岸先住民の展示が充実している。ジオラマや模型が多く使われており、音・匂い・温度など細部にもこだわった展示で、老若男女誰もが楽しむことができる



先住民の衣装の展示



トーテムポール

・Inner Harbour (イナー・ハーバー)

ビクトリアのダウンタウンは Inner Harbour を中心に作られている。港沿いに遊歩道が作られており、小さなショップが並んでいる。港を行き交う渡し船や各種イベントを眺めながら優雅な散歩が楽しめる。





・ Sea Kayaking



・ Whale Watching

<Optional Activities>

予約して参加する有料のアクティビティです。平日のアクティビティ同様に、担当CAと一緒に観光地を訪れたり、体験ツアーに参加します。

Whale Watching、Butchart Gardens 訪問、Kayakingカヤック体験、Vancouver Tripなどがありました。



<Culture Night>

このプログラムで一番大きなイベントは、Culture Nightでした。これは、出身国別にグループ分けをされて、自分たちの国の文化を紹介します。Culture Nightの準備期間は一週間用意されていて、各自で衣装や小道具を準備します。また、Culture Nightはクラスの先生やその家族もお客さんとして見にきてくれます。皆でダンスやクイズをして、とても楽しい時間を過ごせました。



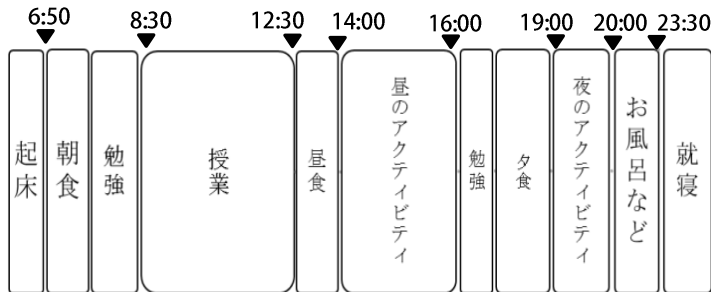
<Farewell Party>

フェアウェルパーティーはプログラム参加者（留学生、先生方、CA）全員で最後のランチを楽しみます。このパーティーは大学ではなく、ダウンタウンの方にあるホテルで行うため、セミフォーマルな服装で参加しました。（セミフォーマルな服を忘れてきた生徒は、ビクトリアで服を購入していました。）

パーティーでは、プログラム参加者の中で立候補から選ばれた人が、感謝とお別れのスピーチをします。みんなで写真を撮ったり、寄せ書きをおくりあったりして、とても楽しい時間を過ごせました。



1) ある一日のタイムスケジュール



英語の授業は2クラス構成だった。昼のアクティビティは必須参加で、二つのアクティビティの内から選択できる日もあった。一方、夜のアクティビティは自由参加で、複数のアクティビティの中から自分がやりたいものに参加した。なお、両アクティビティともビクトリア大学の学生らが中心になって行っていた。

2) 担当教員、学生アシスタントから最後にコメントをもらいました。

From MS. MS. Theresa Leak

You have a lot of confidence and passion for speaking English, which is wonderful to see. Your grammar and vocabulary allow you to express your ideas to your listeners. You did a good job! You have done a lot of work to enrich your English speaking experiences these past three weeks and I'm sure you have benefited from them.
Good luck!!

恵梨果さんが自信と情熱をもって英語を話していたことは素晴らしいことです。文法や語彙もよく理解しており、自身の意見をきちんと表現できていたことを高く評価します。大変よく頑張りました。この3週間、よく学び、更なる英会話力をつけたことは間違いなくあなたの糧となっています。これからも頑張ってください。
(テレサ・リーク)

From MS. Sasha Kazalay

My personal experience with Erika was very rewarding, all the students started off their exchange very hesitant and unsure. Many were afraid to speak up in class and it was hard for the teacher to form connection. I noticed Erika made exceptional efforts to communicate daily with me and her teacher. She spoke very clearly and proved herself very adopt in English conversation. Over the weeks I had the pleasure to watch her and the rest of the students grow and improve. Erika's English level increased greatly and I believe she gained an even stronger grasp of English grammar through her participation in the activities. She was very eager to get involved and never missed any of her workshops. She has been a joy to teach and I hope she can contribute her great understanding of Canadian culture to her peers and classes. We wish her the best of luck.

学生アシスタントとしてクラス運営のサポートをする中で多くの学生と触れる機会があります。恵梨果との出会いはとても有意義なものでした。たいていの学生は英語を話すことに臆病で消極的になりがちですが、恵梨果は最初から積極的で、毎日のように私や先生に話しかけて会話力をつけるための努力を惜しまない、素晴らしい学生でした。この3週間でさらに彼女の英会話のレベル向上が見られました。この研修で学んだ「カナダ文化」への理解を深めてくれたら一層うれしいです。元気で頑張ってください。

(サーシャ・カザレイ)

3) 研修で学んだこと

私は小さいことから英語を習っており、海外で自分の英語力を試したいと思っていた。2014年の夏期短期留学プログラムに参加し、タイ・カセサート大学農学部の学生らと楽しく英語で交流することが出来た。そして、思っていた以上に自分は本当に英語が好きなのだということを知った。そこで、今回の短期留学は英語圏の国で日常的に英語を話し、本場の英語を学ぶために参加した。しかし、私が参加したprogram7は日本人が非常に多く、学生寮に滞在したこともあって、English onlyの英語のクラス以外の時間は、日本語で話していることが多く、英語を話したいという思いで留学した私としては少し物足りなかった。

しかし、自分が今できることをやりきろうと気持ちを切り替え、授業では積極的に発言したり、ビクトリア大学の学部生とご飯を食べたり、日常で分からないことは自ら積極的に聞きに行った。また、空港までのバスの手配や携帯を無くした友人の代わりにバスの忘れ物センターへの連絡など行なったりもした。

予想とは違う形ではあったが留学プログラムを大いに楽しむことができ、自分のやりたいことに貪欲になって積極的に努力する根性を学んだ。また、留学前よりは英語で自分の考えを伝える力がわずかながら身についたと思う。



4) 英語の勉強以外で一番苦労したこと

ビクトリア国際空港への到着時にキャリーバックが届かず、日本から長距離移動をした上に飛行機が欠便になるなどのトラブルで疲れていたにも関わらず、服を着替えることができなかったこと。キャリーバックは翌日寮に届いた。

5) 最も楽しかったこと

ビクトリア大学生やビクトリア在住のおばあさんと一緒に夕食を食べたこと。緊張しすぎてご飯を味わって食べる余裕がなかったが、長時間色々な事を英語で話すことができて非常に楽しかった。

また、大学のオプションツアーではなく、あえて個人的に一般のカヌーツアーに申し込んだことも非常に印象に残っている。ツアーの申し込み方法や支払い方法を自分で調べて参加したツアーでは、現地のオーストラリア人の女性とペアになって、おしゃべりしながらカヌーを楽しんだ。





ビクトリア大学のプログラムに参加して、英語学習だけでなく自分の積極性を大きく鍛えることができたと思います。この夏カナダ語学研修プログラムに参加した他の県大生も帰国後口を揃えて言うように、自分たちだけで海外に行き学習・生活することは、とても新鮮な体験で充実感をもって生活することができました。

平日の生活は、右のとおりです。英語のクラスは午前中に2つあり、午後はアクティビティに参加しました。

授業では、『トランスジェンダー』について考える時間がありました。ビクトリア大学の寮はLGBTへの配慮もあり、男女が混合した部屋割りでした。また、キャンパス内にある施設でも男女共有のトイレがありました。そして、カナダは同性結婚が法律で認められています。自分たちの国で、どのようにしたらよりトランスジェンダーの人々が生活しやすくなるのか、なぜまだ法律での受け入れが来ていないのかなどを、自由に意見を言い合いました。とてもセンシティブな内容だったため、自分の稚拙な英語力で、できるだけ配慮がある表現をしようとするのはとても大変でしたが、考え方や表現方法にとっても異文化を感じた授業でした。

アクティビティでは、担当CA（ビクトリア大学のアシスタント学生）と、観光地に行ったりスポーツをしました。アクティビティは何個も準備がされていて、自分が希望するものを選んで参加します。アクティビティは、クラス関係なく参加するため、この時間に海外の友達がたくさんできました。同じプログラムには韓国人、香港人、メキシコ人の学生がいました。

6:00	
	7:00 起床
	7:40 朝食
9:00	8:30~10:20 クラス①
	10:40~12:30 クラス②
12:00	12:30 昼食
15:00	13:45~16:30 afternoon activities
18:00	18:00 夕食
21:00	19:00~20:30 night activities
	23:00 就寝
0:00	

表1. 平日の生活

この研修プログラムで一番苦労したことは、行き飛行機でキャンセルが起きたことです。自分たちでグランドスタッフの方に話を聞きに行き、新しい便をつくってもらいましたが、その時間はとても不安になりました。（実はこの時が私の海外初渡航でした。）そして、いざビクトリアに着いたら自分たちの荷物が出てこないことに気付き、荷物到着手続きをしました。荷物は次の日には無事に届きましたが、身体的・精神的にこの初日が一番つらかったです。（この出来事はCA（学生アシスタント）の人たちも気にかけてくれて、名前と顔を一発で覚えてくれました。）



CAのアラン

Yes, it was wonderful to have you in our group (2a). Your respectfulness, warmth and kindness really helped everyone feel at ease and your courage and curiosity in coming to a totally different country impressive. I wish you all the best in your future studies and endeavors.
Sincerely, Alan

CAのコメント: Mr. Alan

結と『2a』のクラスと一緒に勉強出来てよかった。結のやさしい雰囲気クラスを盛り上げてくれてありがとう。英語も上達しましたね。今後も勉強や将来の夢にむかって頑張ってください！(アラン)

今回の語学研修前後でリスニングの力が上がったと思います。しかしそれ以上に、自分の英語の弱点を明確にできたこと、また、臆することなく話そうとする気持ちを持てるようになったことが大きな収穫でした。思った以上に日本人の友達がたくさんできましたが（笑）、他の学部・学年で日本では絶対に出会わない人と、英語を勉強したいという共通目的をもってビクトリアで出会えたことは、とても興味深く感じました。また、将来の夢を話した時も、秋田県立大学では絶対に聞けないような話が聞けてとてもおもしろかったです。カナダでの語学研修経験によって、これからの英語学習、そして将来の夢へのモチベーションが高められました。必ずまた、ビクトリアに行きたいと思えます。

You I have enjoyed teaching you and getting to know you in class. I hope you have enjoyed your time in Victoria and continue to practise English when you return to Japan.
Good luck
Kristin Smith

担当教員のコメント: MS. Kristin.

結を担当して知り合いになれたことは楽しいことだった。このプログラムやビクトリアで過ごす時間を結が楽しんでくれたらうれしい。帰国後も英語の勉強に励んでください。(クリスティン)

同じプログラム参加者は日本人がとても多くて、正直自分が英語を話す努力をしないとまったくクラス以外で話す機会がありません。しかし自分が行動を起こささえすれば、その機会は無限に広がります。私は英語学習に加えて、自分の将来の夢に関連した目的をもってビクトリアに臨んだので、大学の他にダウンタウンに行くことがよくありました。ダウンタウンにあるお店の店員さんと話したり、観光地に来ている家族と話をしたり、またその内容をクラス担当の先生やCAに話したりして英語を使う機会を増やしました。



クラス担任のKristinとLiz

University of British Columbia

English Language Institute

English for the Global Citizen

2015.8.31 ~ 9.18



経営システム工学専攻	院 1	高橋 慶悟
機械知能システム学科	2年	佐藤 大樹
応用生物科学科	3年	高橋 悠斗
応用生物科学科	3年	関原 啓晃

1. プログラムの目的



私達4人は、カナダのブリティッシュコロンビア大学が主催するEGC (English for the Global Citizen)と名付けられたプログラムに参加しました。

このプログラムの目的は2つあります。1つ目は、名前の通り「地球に生きる市民としての英語」を学び、世界の情勢を他の国の方々とディスカッションすることです。昨年パリで起きたイスラム過激派による自爆テロの根本的原因は、フランスに移民してきたイスラム人の雇用問題です。フランス経済の低迷を境に雇用の問題が生じ、最初のターゲットとなったのがイスラム人でした。このように、移民に対する差別から生まれたテロであると考えられています。こういった様々な問題について、地球に生きる市民は考えていく必要があり、今回のプログラムでこのような問題を取り上げてディスカッションを行いました。

英語の基本的なスキルである「読み、書き」以外に「聞く、話す」を重点的にスキルアップすることも大きな目的です。英語付けの3週間で、自分が持っている英語力を最大限に生かしてチャレンジすることができる楽しいプログラムでした。もちろん、英語だとすぐに答えられないことは多々ありましたが、自分を試す良い機会になったと思います。日本の企業が海外に進出していく中、これから社会に出て行く私達は英語を学び、使えるようになることが必要となっていくでしょう。将来、海外で働きたいと考えている方には大きな糧になると思います。

もちろん、こういった勉強だけが目的ではありません。海外の文化に触れて、新しい友人を作り、交流することも目的です。

Let's try it!



EGCのクラスメイト達 教室にて



EGCの先生方

2. 授業について

このプログラムでは、初日にリスニングとオーラルコミュニケーションのテストが行われ、クラスが2つにわけられました。

クラスでは1週間ごとに、1つのテーマを題材にして午前と午後で授業が行われます。私たちは3週間のコースでしたので、トータルで3つのテーマに基づいて進められます。

午前の授業はスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを向上させることに重点を置いていて、語彙や文法、発音などを勉強しました。

一方、午後の授業はグループワークが重点的に行われ、約1週間かけてディスカッションや

フィールドワークにおもむき、結果をポスターやスライド形式にまとめてプレゼンテーション・ワークショップをしました。この金曜日に行うワークショップでは、分けられたクラスメイトが互いに行き来しあい、お互いの情報交換や純粋な交流をして楽しむことのできる有意義な時間となりました。

別クラスの学生だけでなく先生とも交流できる機会にもなっていて、様々な角度からのアドバイスをいただいたり、興味深い話を聞けたりできました。

Week 1 : 学習テーマ「異文化コミュニケーション」 Week2 : 「食物の政策」

Week3 : 「メディアとテクノロジー」

Date	Day 1 Schedule	Date	Day 8 Schedule	Date	Day 15 Schedule
8月31日 (Mon)	・9:15-9:45 授業登録 ・9:45-10:30 リスニングテスト ・10:30-12:30 会話テスト&学内ツアー ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-14:30 授業オリエンテーション ・14:45-16:00 ホームステイオリエンテーション	9月7日 (Mon)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月14日 (Mon)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date	Day 2 Schedule	Date	Day 9 Schedule	Date	Day 16 Schedule
9月1日 (Tues)	・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月8日 (Tues)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月15日 (Tues)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date	Day 3 Schedule	Date	Day 10 Schedule	Date	Day 17 Schedule
9月2日 (Wed)	・9:00-10:00 歓迎朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月9日 (Wed)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月16日 (Wed)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date	Day 4 Schedule	Date	Day 11 Schedule	Date	Day 18 Schedule
9月3日 (Thurs)	・9:00-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月10日 (Thurs)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業	9月17日 (Thurs)	・9:00-10:00 朝食会 ・10:10-12:30 午前の授業 ・12:30-13:30 昼食 ・13:30-15:45 午後の授業
Date	Day 5 Schedule	Date	Day 12 Schedule	Date	Day 19 Schedule
9月4日 (Fri)	・9:00-10:20 午前の授業 ・10:30-12:30 ワークショップ	9月11日 (Fri)	・9:00-10:20 午前の授業 ・10:30-12:30 ワークショップ	9月18日 (Fri)	9:00-10:20 午前の授業 12:00-14:00 修了式 お別れパーティー
Date	Day 6 Schedule	Date	Day 13 Schedule	Date	Day 20 Schedule
9月5日 (Sat)	終日フリー	9月12日 (Sat)	終日フリー	9月19日 (Sat)	終日フリー
Date	Day 7 Schedule	Date	Day 14 Schedule	Date	Day 21 Schedule
9月6日 (Sun)	終日フリー	9月13日 (Sun)	終日フリー	9月20日 (Sun)	バンクーバー発 成田着

3. 大学の施設

UBCは秋田県立大学とは比べ物にならないほど大きなキャンパスで、学部棟だけでなく、さまざまな施設があります。その一つとして、私たちが頻繁に足を運んだ大型複合施設「ネスト」を紹介します。

「ネスト」という名前は学生たちにとってのネスト（巣）となるような場を目指して建設されたことに由来していて、ピザ屋、コーヒーショップ、レストランといった飲食店に加え、劇場、ラジオ局、セミナー室、アゴラ（広場）などがあります。

また施設の中央には鳥の巣をイメージして作られた大きな建造物があることも、ネスト（巣）であることを象徴しています。学生の多くはここで宿題やグループ学習を行ったり、食事を済ませたりしていました。

イベントの会場として用いられることも多く、新入生歓迎のパーティー、ポスターの展示・販売、コメディショーなどが行われていました。広い多目的室が多くあり、サークル活動や部活のオーディションの場としても利用されています。

私たちの滞在中に新年度が始まったこともあって、ネストはUBCの学生で溢れかえっていました。大学の雰囲気を感じとるだけでなく、UBCの学生と知り合うチャンスが多くあったと思います。



NEST

4. 課外活動

講義終了後と週末は、普通の大学と同じく自由時間です。その時間を利用して個人的に観光に出かけたりしました。大学側が用意してくれたツアーやパーティーもあり、カナダやバンクーバーの市街地や歴史を理解することに繋がるもの、他の学生との交流を促進してくれるような企画を毎日実施してくれました。

参加は任意でしたが、非常に多くの人が参加していました。この企画はUBCの用意する複数の英語学習プログラム参加者全員に共通のもので、私たちが参加したEGC以外のプログラム参加者との交流が沢山ありました。プログラムが異なると学生のレベルや母国も異なっていて、さまざまな刺激を受けました。

いくつかのツアーや見てきたものを紹介したいと思います。



大学が初めに実施してくれた大きなツアーは「ダウンタウンツアー」でした。その名の通り、バンクーバーの街の観光です。街の起こりからチャイナタウンの形成、ガスタウンの由来とその街並みといった歴史的な背景の解説をしてもらい、お昼はレストランでハンバーガーを食べてきました。バンクーバーの街並みは日本と大きく印象が異なっていて、開放的で気持ちの良いものでした。

最も規模が大きかったツアーは、「ビクトリアアイランドツアー」でしょう。朝早くに集合し、フェリーに乗ってビクトリア島に観光へ行きました。大きな庭園「ブッチャーガーデン」を見に行ったり、街中で食べ歩きや買い物をして楽しみました。



ちょうど日曜日ということもあって、道路が歩行者天国になっていたり、大道芸人や道路にカラーチョークで絵を描いている人たちもいて休日の市街地の散策を楽しみました。



5. ホストファミリー紹介

関原啓晃

バンクーバー市は人種のるつぼのような場所で世界各国から人々が集まる都市でした。

ホームステイ先では、フィリピン人、イスラエル人、ブラジル人といった多種多様な家族が迎え入れてくれました。また、ステイ先の中には数人程受け入れているところもあり、

ブラジルからの留学生や中国から語学研修にきた大学の教授とも一緒に過ごすことができました。

ホストマザーは30年前にフィリピンからバンクーバーに移り住んだフィリピン系カナダ人でした。毎年留学生に部屋を提供しており、日本人としてホームステイに迎え入れたのは私が3人目ということでした。彼女は、料理が得意で夕食にはさまざまな肉料理を作ってくれました。その中でも私はチキンライスが一番気に入りました。



高橋 慶悟

私がお世話に

なったホームステイ先は、夫婦2人だけが住んでいる家でした。旦那さんは中国系カナダ人、奥さんはフィリピン系カナダ人で、お二人はバンクーバーに移住した後に、ダンス教室で知り合ったそうです。ご飯はおいしいフィリピン料理を振舞ってくれました。日本の料理が好きということで、日本のだしを使って料理することもあると言っていました。週末になると、奥さんのほうは、自宅でダンスを教えていました。また親戚同士集まってパーティー等もしていました。不自由なく過ごすことはできましたが、意思の疎通が難しく、時々間違った行動をしてしまうことがあったために怒られたこともありました。しかし、帰るときには、「またバンクーバーに遊びにおいでね」と言われ、家を出るときには少し目が潤んでいたことは忘れもしません。とても優しい家族で大満足な日々を過ごしました

高橋 悠斗

私のホームステイ先の家族の出身はブラジルでした。夫婦に子供3人と犬が1匹、加えて長男の友人が長期休暇を利用して泊まっていて、さらに韓国からの留学生も1人。私を加えると総勢8人(+1匹)という大家族でした。家の中にいながら色々な話をいろんな人とできたのはとてもうれしく思います。さらには家の裏口の鍵を渡され、門限なく自由に出入りして

よいと言われ、自由気ままに街を散策できました。

異国の地を様々な面で堪能させてくださり、本当に感謝しています。



佐藤大樹

私がお世話になったホームステイ先は、一人暮らしのおばあちゃんの家でした。おばあちゃんはイスラエル出身で理学療法士をしていたそうです。

最初は緊張してうまく話せませんでしたが、週末の夕食のときに一緒に歌を歌うようになるまで打ち解けることができました。

ホームステイを選んでよかったと思いました

6. 研修で学んだことや県大生へのアドバイス

高橋 慶悟

私のクラスでは、イタリア人の車のメーカーのエンジニア、ブラジル人のコンピューター会社の営業、韓国人の医者、日本人学生が参加していました。こういった方達の中で話し合いをするとわからないことがたくさん飛び交い、話を聞くので精一杯でしたが、新しい知識を得ることができました。

英語のリスニングやスピーキングがあまりできない私は、返答するのに四苦八苦でした。こんな状況の中で私は、「もっとリスニングとスピーキングを磨かなければならない」と思いました。また、せっかく異なる国の方達がいるので、国の問題についても話せたなと思いました。私は、今回の研修を通じてもっと世界の情勢を知る必要があると考えさせられました。また、これから社会に出る人として、日々変わっていく社会情勢について毎日学んでいく必要があるなと深く考えさせられました。

佐藤大樹

英語を学ぶということは自分のする選択の幅を広げることだと思います。気軽に海外旅行に行けるようになったり、海外の大学に進学したり、そのまま海外に住んだりなんてことも考えられるようになります。また、今まで日本の外に出たことがないなら、このような海外研修プログラムに参加すべきだと思います。私は短い研修でしたが自分の視野がいかに狭いか思い知らされました。

関原啓晃

この研修では、多くの海外の人たちと出会うなかで、日本が外からどのように評価されているのかを知りました。また、異なる意見を聞くなど新しい発見がたくさんありました。このような発見ができたのも、自分から英語でコミュニケーションを取れたからだと思います。

このプログラムにチャレンジする方は自ら積極的に行動して、語学力を磨くとともに新しい発見をしてほしいと思います。

高橋悠斗

引率教員がいない留学は、それはそれは楽しく、そして大変なものでした。詳しくは私の個人レポートをご覧くださいと思います。

ただの言語として英語を学びたいならば、日本で教科書を読めばよいでしょう。生きている英語に興味があるのならば、是非留学を、それも本プログラムのような引率教員がいないプログラムへの参加をお勧めします。

留学中に学んだこともさることながら、留学前のプログラム申し込みの時点で英語面接があったり、合格後のUBCへの申し込み手続きも自分で行ったりと留学中以外にも学んだことが沢山あります。申し込みから留学、帰国までの約半年もの間、生きた英語経験ができたことは、とても刺激的で貴重な価値あるものでした。



～ある一日のスケジュール～

午前中

- ・主に文法を学んだり、文章を読んで2人ペアで討論を行う講義。
- ・UBCの農場に行って課外活動も行った。

昼食

- ・クラスメイトたちと食事をする時間。
- ・ホストマザーが弁当を作ってくれた。

午後

- ・アイスブレイクのためにゲームを行った。
- ・プレゼンテーションのための課外活動や討論を行った。

放課後

- ・クラスメイトとダウンタウンへ出かけるなど。
- ・家へそのまま帰ることもあった。

・語学研修に参加するきっかけ

2つあります。1つ目は、昨年の夏休みにグアム語学研修に参加し、英語で他の国の方々と話すことが楽しいと感じたからです。他の国の人と話すことによって、様々な知識や面白いことを知ることができ、異なった文化に触れることで自分の価値観を広げることができると私は考えています。2つ目は、自分の力でどこまで話することができるか試してみたかったからです。グアム語学研修では、主に同じ大学のメンバーと毎日の行動を共にし、普段は日本語が使えるために簡単にコミュニケーションを取ることができました。しかし、今回の語学研修は主に一人で行動をするため、英語で自分を表現しなければならない環境になります。そういった環境で自分を試したいと強く思いました。

・今回の語学研修を通して

最初は、「楽しんでこの研修を取り組もう！」という決意で臨みました。思っていた通り、クラスメイトは個性豊かで楽しく、充実したものになるだろうと感じていました。

しかし、このプログラムはECG (English for the Global Citizen)、世界情勢についてディスカッションやプレゼンテーションを行うという目的でしたので、異なった国の方々と真剣に話し合ったり、意見が食い違ったり、お互い理解できなかつたりということが多々ありました。特に苦労したのが、イタリア人のエンジニアの方とプレゼンテーションをする時でした。私たちは、UBCの大学生に教育と環境の問題についてインタビューをし、その内容をまとめるのですが、イタリア人は英語の話し方がイタリア語なまりになってしまうため、聞き取って理解するのに苦労しました。また、自分が思っていることを英語で伝えるのはとても難しく、時間がかかったことを覚えています。もちろん楽しいこともありました。講義が終わってからクラスメイトと街に出かけて夕食を食べたり、休日にはバンクーバーの観光名所にいったりしました。

この語学研修では、英語でコミュニケーションを取る難しさを改めて感じさせられる良い経験になりました。



担当教員のコメント: Andy Wilkins
Keigo attended my English classes for three weeks in the English for the Global Citizen program in Vancouver, Canada at The University of British Columbia. In terms of participation, attendance, enthusiasm and group work, Keigo thoroughly impressed me. I wish him all the best in his English studies in the future.

慶悟は私のクラスで3週間のプログラム中、積極的に講義に参加して、グループをけん引してくれました。今後も英語学習に励んでください。

(アンディ・ウィルキンス)



担当教員のコメント: Julie Ship
Keigo was a pleasure to have in my English for the Global Citizen Class at UBC's English Language Institute. He always worked hard to improve his skills, got along well with others doing team projects and even thrived in an acting role in a English language Advertisement Spoof. When giving presentations he uses intonation and enthusiasm to convey his message with others. I wish him the best of luck in future endeavors in Trade and everything else he chooses.

慶悟はこの3週間、努力を惜しまず英語の習得に励んでいました。同時に彼の明るく楽しい性格はクラスの良好な雰囲気作りに多大に貢献してくれました。彼がプレゼンする時の表現力、「伝えよう！」という情熱は素晴らしかった。商社で活躍するという夢の実現にむけて頑張ってもらいたい。

(ジュリー・シップ)





・研修で学んだこと

完璧な英語を話そうとする必要はないということ学びました。

バンクーバーでの生活でUBCやバンクーバーの人がこれほど持続可能性や環境のことを考えているのかと驚きました。キャンパス内のゴミ箱は分別できるように4つに別れていました。トイレの水は節約のために一度使った水を再び使えるようにしていました。生ごみを専用のケースに入れて家の前においておくと、それを回収してくれるサービスがあるらしくホストマザーは生ごみや庭の畑で出たゴミを毎週おいていました。

最後に、外国を今までより自分と関係のあるものと考えようになりました。今回研修で行ったバンクーバーやカナダはもちろん、ホストマザーの出身であるイスラエル、同じ家にホームステイしていた女性の母国中国のことを、実際にその土地に住んでいる人と出会うことにより、もっと身近に考えるようになりました。

・最も楽しかったこと

最も楽しかったことはホストマザーとの会話です。今まで習ってきた英語を実際に会話で使うことはとても楽しく刺激的でした。また自分と育った国や宗教、文化が異なる人と話すのは初めてのことで、多くのことを学びました。特に、イスラエルでは水は貴重なものだから無駄使いしてはいけないということが一番心に残っていて日本に帰ってきてからでも水を使うときに頭をよぎります。

担当教員のコメント ~ from Patricia Nicoli
Daiki Sato attended my English classes for three weeks in the English for the Global Citizen program in Vancouver, Canada at The University of British Columbia. Based on my observation of Daiki's participation, attendance, hard work and interaction in a team environment I declare him as an outstanding student. Above all, he learned to communicate well in English.

大樹は私のクラスで、活発に授業に参加し、積極的にチームの雰囲気作りをしてくれた、大変優秀な学生でした。この研修を通して、英語を使ってのコミュニケーション力を会得したことでしょう。
(パトリシア・ニコル)



ホストマザーのコメント

It was a pleasure to have you in my homestay!

I wish you good luck and success in your studies, enjoy life, travel and discover the world. Good luck wherever you go and what you do! Hello to your parents, family and friends.

All the best,

Your homestay mother
Ilana Strummer

大樹をホームステイ受け入れたことはこの上ない喜びでした。よく学び、世界を旅して、人生を楽しんでください。大樹がどこへ行っても応援しています。日本のお父さんお母さん、ご家族やお友達によろしく伝えてください。

(ホストマザーより)



・1日のタイムテーブル

【平日】

UBCのキャンパスへはバスで通学しました。バスは2種類あり、各停留所に止まるバスとEXPRESSと呼ばれるバスが運行してました。バンクーバー市民は降りる際は必ず”Thank you.”と運転手にお礼の言葉をかけていたので、私も降りた後にお礼を言うようになりました。

授業は午前と午後の部に分かれており、午前の授業は、発音練習、文法、単語に加え野外活動を行いました。野外活動では、UBCの学生へのインタビューや、学内の博物館を見学したり、UBCの農場へ行って有機栽培について学んだりしました。午後の授業は、野外活動が中心でバンクーバー市内のスーパーを訪れたり、サイエンスワールドと呼ばれる科学博物館に入場したりしました。

学校後は、友達とダウンタウンに遊びに行ったりしましたが、基本的には家に帰ってからはホストファミリーと一緒に食事をしながらその日に習ったことや次の日の予定を伝えるなどコミュニケーションをよくとるようにしていました。食後の自由時間は、宿題に取り組んだりブラジル人の下宿生と会話したりして過ごしていました。

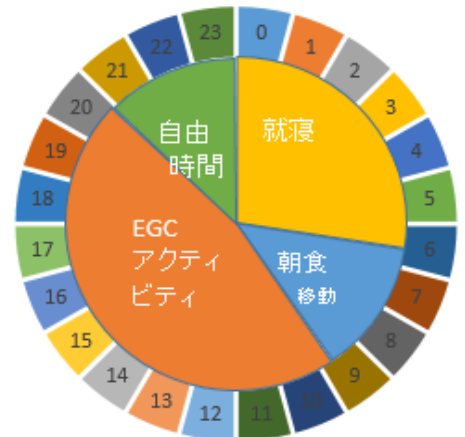
【休日】

休日は、UBCが用意してくれたEGCアクティビティに参加し、ダウンタウンやブリティッシュコロンビア州の州都であるビクトリアへ観光に行きました。アクティビティがない日は友達とキャピラノやスタンレーパークに行くなどバンクーバー郊外にある自然に親しみました。

【平日】



【休日】



UBCを訪問してくれたTerri先生と

・研修で学んだこと

私が参加したプログラムはENGLISH FOR THE GLOBAL CITIZENというもので、三週間でフェアトレード(fair trade)、メディアそして有機栽培について学びました。

フェアトレードの回では講師を招き講義形式でフェアトレードの取り組みについて学びました。この講義を聴いて、世界中の農場で働く労働者たちは労働条件が悪いなか労働を強いられていることを知りました。また、フェアトレードとは、立場の弱い発展途上国で働く労働者の生活水準の改善を目指すと同時に、生産と消費のシステムを再考し、私たちがどのようにフェアトレードに関わっていくべきかを伝える運動だということを学びました。私は、労働者の自立を支援するためにもまずはフェアトレードについて多くの人に知ってもらうことが重要だと感じました。

有機栽培の授業では、UBCの農場を訪問し関係者からどのようにして有機栽培に取り組んでいるのかを聞きました。農場では、鶏を飼うことで除草剤の使用をなくし、鶏の糞や生ごみを堆肥にして土壌の質を維持するなどして有機栽培に取り組んでいました。

どの授業も共通して持続的社會を築くための取り組みについて学ぶプログラムとなっていました。



UBCファームにて EGCのクラスメイトと

ホストマザーがフィリピン系ということもあって、フィリピンなまりの英語を聞き取ることにも苦労しました。現地の生活が始まった当初の頃は、何回も聞き直したり何度もこちらから確認したりしていました。

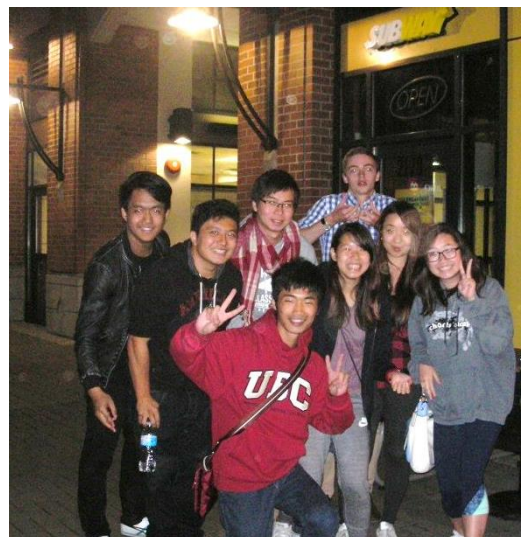
また、現地の生活習慣の違いからストレスを感じたりもしました。カナダでは（ホストファミリーの家では）、シャワーは朝に浴びる習慣となっており夜遅くにはバスルームを使用することはできませんでした。他には、朝食がマフィンだけなど体調管理に気をつけました。

・最も楽しかったこと

ちょうど大学の新学期がスタートする時期に滞在できたので、語学プログラムの学生だけでなく、UBCの学部生たちと関わることができたことが一番楽しい思い出となりました。

彼らから大学で学んでいることや大学での生活などを聞くことができました。また、お互いの話をしていくなかで共感や新しい考えを受け取ることもありました。

他には、サークル活動に参加したり、学生の行きつけのレストランで一緒に食事をするなど、UBCの学生生活を体験したことも楽しかったことのひとつです。



ダウンタウンにて UBC学部生の皆さんと



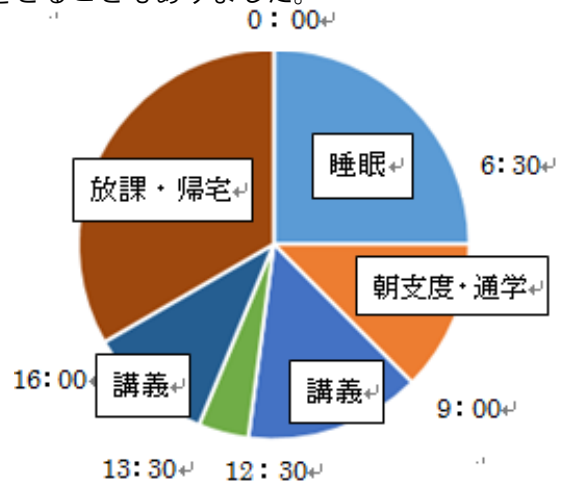
2015年8月29日、私がバンクーバーに降り立つ直前、現地の天気は荒れに荒れ、一部地域で停電が起きていたと聞きます。一方その頃私はそんなことなど知る由もありません。気持ちが浮れていて、事前に現地の天気を確認しておこうなどとは思わなかったのです。期待に胸を膨らませて日本を飛び立ちました。

バンクーバー国際空港に降り立ち英語だけの世界にやってきた感動もひとしお、大学の出迎えスタッフと合流し順調にスタートしたかと思いきや、ホストファミリーと電話が繋がらないという事態が発生。どうやら私のホームステイ先は停電しているようです。連絡がつかないことには向かえません。かれこれ4時間の足止めの末、「とにかく家に行って人が居るか確認し、居なかったら新しいホームステイ先に変更しよう」と言われ、なんと一人で民間タクシーの中に放り込まれました。スタッフはタクシードライバーに簡単な事情を説明してくれましたが、結局その後は自分一人です。新しいステイ先も家主が家を空けている可能性はゼロではありません。これからどうするか、判断して伝えるのは自分だけが頼りです。入国から僅か4時間で大トラブルに見舞われたのでした。

ホームステイ先を訪ねると、幸運にも家主は居ました。彼の暖かい笑顔とハグ、そして可愛い犬の顔を見て気持ちは落ち着きを取り戻し始めました。しかしその日の晩御飯は米に豆を煮たスープをかけたもの（なんとカナダに来てブラジル料理である）で、正直なところ私はこの手の豆類が苦手です。とはいえ食べないことにはどうしようもないので全部食べます。

結局、その日は気分が優れないまま終わりました。今でこそ笑い話ですが、カナダでの3週間の生活は、波乱の一日から始まったのです。

そんなカナダでの生活はおおよそ下図のサイクルで過ごしました。家の中にある食材は自由にしてよいと言われ、朝食と昼食は自分で用意しました。パン一つをとっても味が日本のものとは違うため、工夫を重ね、朝食はシリアルに牛乳とココアパウダーを混ぜたものに落ち着きました。昼食はコッペパンにベーコンや卵焼き、レタスを挟んだサンドイッチを。大学の中には飲食店がいくつも入っているので、そこで昼食をとることもありました。



一日の生活サイクル

大学での講義についてはグループレポートをご覧いただきたいと思いますが、やはり改めて、日本人以外の方と英語のみで意思疎通を図る挑戦は楽しかった、とお伝えしたいと思います。

放課後や週末は自由時間です。せっかくのバンクーバーです、少しでも暇があれば街へ足を運びました。広大な海を前に、白い外壁と大きなガラスに反射した青を空高く伸ばすビル群は、それは綺麗なものでした。自転車をレンタルしてスタンレイパークをサイクリングしたときの気持ち良さは忘れられません。水族館では英語の説明書きを読むのに必死で、けれどもそれがまた楽しいものでした。

しかし街の中は綺麗なものだけではありませんでした。繁華街には気付けば乞食がそこかしこに居て、私の顔を見るなり手を伸ばして「Change! (小銭をくれ!)」と迫ってくるのです。最も酷いときには、飲食店内に入ってきてまで小銭をせびってきた挙句、英語で最も汚い言葉を浴びせてきました。日本では到底考えられない非日常さのあまり驚愕し、同時にやや身の危険を覚えました。しかし周りの人たちは我関せずの構え。初日同様、一人一人に対処するしかありませんでした。



ホストファザーのコメント Host father, Mr. Simon

It has been a pleasure having Yuto in our house as a cool student. He is very polite and fit well in our house with another student, our family and even our dog Zelda. I wish him all the best and if in the future he needs, our house is open for him. Good luck Yuto on everything that you do.

悠斗のようなとても礼儀正しい学生をホストできてうれしく思う。彼は、私の家族のみならず、他の学生とも、飼い犬のゼルダとも、すっかり馴染んでいた。
今後も、悠斗が滞在したい時には、我が家のドアをいつでも開けて待っています。
悠斗の成功を祈っています。

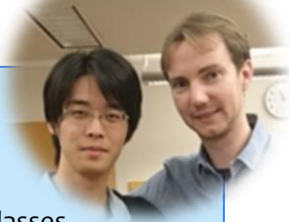
(ホストファザーより)

トラブルの数を数えたらきりがありません。先の例のようなやや危険なものもあれば、バスの行き先がわからないといった小さなものまでとにかく沢山です。このようなトラブル、引率の先生方がいらっしゃったらどこまで自力で解決を図ったでしょうか。確かに大変でしたが、持てる全ての知識を総動員した上でさらにもう一步踏み出した、という感じがします。断片的にでも英語の世界を学んできた、と言える自信があります。

ただ英語を学びたいのなら、日本で教科書を開けば良いのです。わざわざ異国に行っても学ぶ理由、それはこのような困難でありながらも貴重な経験をすることであったのだと今では思います。

最後に、快く私を泊めてくださったMr. Simon、そして講義で多大なアドバイスをしてくださった講師Andy先生に感謝するとともに、いただいたメッセージを紹介させていただきます。

ありがとうございました。



From: Morning class, Mr. Andy Wilkins

Yuto attended my English classes for three weeks in the English for the Global Citizen program in Vancouver, Canada at The University of British Columbia. Yuto brought a lot of enthusiasm to class and was participated keenly in all activities. He improved his English, especially in terms of his speaking and listening skills. I wish him all the best in his English studies in the future.

悠斗は私のクラスの様々な課題に、いつも熱心に取り組んでいた。
特に彼の発話力とリスニング力が向上したことを高く評価したい。
英語の勉強を今後も頑張ってもらいたい。
(アンディ・ウィルキンス)

2015年夏期 カナダ語学研修報告集
編集・発行
秋田県立大学 国際交流室
2016年 4月